

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	愛知県
取組市町村名 取組団体・企業名	安城市 (※愛知県栄養教諭研究協議会提出)
取組の名称	「愛知を食べる学校給食の日」
実施時期	令和8年6月19日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	☐ 1 みんなで楽しく食べよう ☐ 2 朝ごはんを食べよう ☐ 3 バランスよく食べよう ☐ 4 太りすぎないやせすぎない ☐ 5 よくかんで食べよう ☐ 6 手を洗おう ☐ 7 災害にそなえよう ☐ 8 食べ残しをなくそう ☒ 9 産地を応援しよう ☐ 10 食・農の体験をしよう ☐ 11 和食文化を伝えよう ☒ 12 食育を推進しよう
取組内容	安城市は学校給食で地産地消を推進し、市内産や県内産食材を積極的に活用しています。 今年度の「愛知を食べる学校給食の日」の取組は、中学校1年生の総合的な学習の時間を生かした学校給食を実施しました。生徒が総合的な学習の時間に「地産地消の重要性」について探究的な学習を進める中で、「地域の農家を支えたい」という思いをもち、そこから市内産チンゲンサイ・たまねぎ・きゅうりを使った「安城たっぷり井の具」を考案し、給食に取り入れるよう、栄養教諭に提案がありました。そこで、「安城たっぷり井の具」の他に「鶏団子の中華豆乳スープ」を組み合わせ、この料理には、市内産にんじんや近隣の岡崎市産もやし、県内産キャベツと県内産大豆から作られた豆乳を使用し、地場産物を積極的に取り入れた献立としました。この献立は、6月19日に市内全小中学校に提供し、使用されている地場産物を紹介するリーフレットも併せて小中学校に配付しました。料理を考案した生徒は、昼の放送で「地元の野菜を選ぶことが地域の農家の支えになること」を発信しました。他の生徒からは、「他にどんな料理に活用できるか考えてみたい」などの声が聞かれ、地元食材への関心の高まりが感じられました。  【当日の献立】 麦ごはん、牛乳、安城たっぷり井の具 愛知のしそ入り春巻、 鶏団子の中華豆乳スープ